

# 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた 市長メッセージ

全国的に第8派になり、新しく新型コロナウイルス感染症になった人が増えて  
います。

奥州保健所管内でも、複数の高齢者施設でクラスター<コロナになった人が  
一気に増えること>が発生するなど、一日の新しくコロナになった人の数が12  
月20日に、今までで一番多い284人になりました。

岩手県の医療機関では、受診者が増えました。そして、医療従事者がコロナになる  
などして、欠勤<仕事を休むこと>で、入院患者を受け入れることができなくなっ  
たり、緊急ではない手術を延期しなければならなかったり、一般の診療を制限しな  
ければなりません。救える命を救えなくなるかもしれない状況です。特に、県南の  
地域では、県の基準のレベル4（医療機能がきちんと機能していない状態）です。

さらに、12月14日には、岩手県は、3年ぶりにインフルエンザが流行るシーズ  
ンに入ったと発表しました。コロナとインフルエンザが一緒に流ることも心配し  
ています。

これよりも医療機関が大変にならないように、市民の皆様は、正しいマスクの  
着けかたや、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底し、寒い時期ですが、十分な  
換気をしてください。そして、下に書いている3つの事をしてください。

1つ目は、医療機関での検査・受診する人が多くならないために、重症化のリスク

が低い人で、症状が軽い人は、自分で検査をしてください。また、ドラッグストアなどで売っている薬を飲んで、家で療養<病気が治るまで休むこと>をしてください。

2つ目は、感染した時のために、前もって、抗原検査キット、解熱剤などの薬や、1週間くらいの食べ物や生活に必要なものを買って置いてください。

3つ目は、体調が悪くなって、医療機関に行くときは、前もって電話をしてください。またできるだけ平日の朝や昼に受診してください。

市では、現在流行っているBA.5系統に対応するためのワクチン接種をしています。特に、重症化リスクが高い、年を取っている人や、まだワクチンをしていない若い人も、早めにワクチンをしてください。

また、乳幼児(6か月~4歳)・小児(5歳~11歳)の接種もしています。ワクチンをすることを検討してください。

れいわごねん いちがつよっか  
令和5年 1月4日

おうしゅうしちやう  
奥州市長

くらなり じゆん  
倉成 淳